

2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネーター	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	ブライダルコーディネーター科	授業 形態	演習	単位 時間	2 30	曜日・時限	木曜日 1限
教員	寺山 英里						

【到達目標】
 婚礼衣装の専門知識を身に付け、TPOに合わせたコーディネートと提案ができるようになる

【授業の学習内容】
 ドレススタイリストとしての仕事内容を学び、授業内で実際にドレススタイリストの業務を体験することに仕事理解を深める。また様々な会場の特徴を理解し、シチュエーションごとに合ったドレスコーディネーターの提案ができるようになることを授業目的とする

【教員実務経験】
 ドレスショップでドレススタイリストとフォトウエディングのフォトコーディネーターの経験を経て、退職後はアートディレクターとして結婚式のプロデュース、結婚式やカフェなどの空間スタイリストとしての経験をもつ

No.	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	演習	オリエンテーション/自己紹介と目標設定	
2	2回目	演習	ドレススタイリストと仕事内容とドレススタイリストとしての心構えについて	
3	3回目	演習	ドレスシルエットを知る/試着してドレスシルエットを確認する	小テスト(筆記5点)
4	4回目	演習	ドレスの着せ方を知る/パニエ、ドレスランジェリーの役割を学ぶ	
5	5回目	演習	ドレスを時間内に着せる	小テスト(実技5点)
6	6回目	演習	会場に合ったドレスの素材・シルエット選びのポイント	
7	7回目	演習	中間試験	中間試験20点
8	8回目	演習	ドレスの小物の名称(ベール、グローブ、イヤリング、ネックレスなど)と役割を学ぶ	
9	9回目	演習	会場に合わせた小物スタイリングのポイントを学ぶ	小テスト(筆記5点)
10	10回目	演習	男性の婚礼衣装の名称とタキシードの着せ方を学ぶ	
11	11回目	演習	ドレスのメンテナンス方法と補正について理解し、実際に補正を入れる練習を行う	
12	12回目	演習	パートナーにドレスの補正を行い、正しいサイズで着せることができる	小テスト(実技5点)
13	13回目	演習	TPOに合わせたドレススタイリングをチームごとで発表	小テスト(実技10点)
14	14回目	演習	定期試験	定期試験50点
15	15回目	演習	定期試験フィードバック・成績評価	

準備学習 時間外学習
 授業ごとに配布する資料をファイリングして保管し、毎回授業の際には持参すること。

評価方法
 ●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度)
 ◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)
 ◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0) 、
 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価

受講生へのメッセージ
 ウエディング業界に必要な人間力・現場力・創造力を培うことは大前提のもと、リアルウエディングで実際のお客様をおもてなしする準備の訓練として、社会人としてのマナー(敬語・挨拶など)も徹底して授業の中に取り入れていきます。また、必ず授業中はメモを取ってください。

【使用教科書・教材・参考書】 □
 ウエディング雑誌・ソーイングセット